

授業科目	発達障害治療学Ⅱ				
担当者	小林哲理(実務経験者)				
実務経験者の概要	発達障害児・者を対象とした児童療育機関等に勤務し、発達障害児・者を対象とした作業療法の経験を有する				
学科名	作業療法学専攻	学 年	3年	総単位数	1単位
		開講時期	後期	選択・必修	必修

## ■ 内 容

発達障害治療学Ⅰの講義を踏まえて、疾患、障害、年齢別に作業療法における援助技法を学習・演習する。

## ■ 到達目標

発達障害領域の作業療法の実際について教科書とモデル事例を通じて理解する。  
障害のある子どもの遊びや作業を可能にする援助技法の基本を習得する。

## ■ 授業計画

- 第1回 疾患・障害別発達障害領域作業療法の実際(感覚統合機能、姿勢と運動及び心理・社会的機能へのアプローチ概論)①
- 第2回 疾患・障害別発達障害領域作業療法の実際(感覚統合機能、姿勢と運動及び心理・社会的機能へのアプローチ概論)②
- 第3回 脳性麻痺①
- 第4回 脳性麻痺②
- 第5回 脳性麻痺③
- 第6回 脳性麻痺④
- 第7回 重症心身障害
- 第8回 二分脊椎
- 第9回 筋ジストロフィー
- 第10回 知的障害・Down症候群
- 第11回 発達障害概論
- 第12回 発達障害-広汎性発達障害
- 第13回 発達障害-注意欠陥多動症
- 第14回 発達障害-学習障害
- 第15回 家庭生活支援 ペアレントトレーニング、障害児の子育て支援

## ■ 評価方法

【科目試験(筆記試験)】(70%)、小テスト・レポート等提出解題(30%)  
講義内テストを含む全ての試験の際に不正な行為があったと認められた者については、規程に定める第16条を適用し、当該学期の全ての試験を無効とし、失格(留年)とする。

## ■ 授業時間外の学習(予習・復習等)について

予習:授業前に教科書の該当箇所を読み、授業における習得目標を明確にする  
復習:授業該当箇所の教科書を読む。指定したプリントやレポート課題等に取り組む。該当箇所の国家試験問題を解く。授業で触れた治療方法を練習してみる

## ■ 教科書

書名:作業療法学ゴールドマスターテキスト7 発達障害作業療法学(第2版)  
著者名:監修:長崎重信 編集:神作一実  
出版社:株式会社 メジカルビュー社

## ■ 参考図書

書名：発達障害の作業療法 基礎編（第2版）

著者名：編集：鎌倉矩子、山根寛、二木淑子 著者：岩崎清隆、岸本光夫

出版社：三輪書店

書名：発達障害の作業療法 実践編（第2版）

著者名：編集：鎌倉矩子、山根寛、二木淑子 著者：岩崎清隆、岸本光夫

出版社：三輪書店

## ■ 留意事項

この授業は、発達障害治療学Ⅰの知識を前提としております。事前に、発達障害Ⅰの授業で行った教科書の該当箇所を目を通してから授業に臨んでください。

## ■ 講義受講にあたって